

タイ証券取引所が「プラティープ・ウンソンタム・秦賞」を授与

スラムの青少年に音楽とサッカー指導で貢献する二人に

タイ証券取引所は毎年一回、社会の様々な分野で貢献する人々を表彰していますが、今年の「プラティープ・ウンソンタム・秦賞」はクロントイスラムでプラティープ財団の奨学金をもらいながらマヒドン大学国際音楽学部を卒業し、教会の青少年楽団を指導しながらバイオリニストを目指しているワリン・アートウイライ君（25）と、青少年が麻薬に染まらないようサッカーを通じて育成に努めているサワット・タンマスチャリット氏（52）



に贈られました。

この賞は、タイ証券取引所が様々な分野で実績を上げている NGO 団体等と提携して授与しているもので、今年で11年目になります。今年は7分野から11名が「社会活動に優れた貢献を成し遂げている」と表彰されました。

あいさつの中でワリン君は「スラムで生まれ、スラムで育ち、さまざまな差別も受けて来ました。でも小さいころから音楽が好きな僕を父と母はずっと支えてくれました。そしてプラティープ財団の奨学金のおかげで大学で



学べました。

子どもたちがどこに住んでいようとも、音楽を通じて理解し合い、結ばれてゆくように頑張っています」と述べました。

サワット氏は「サッカーのおもしろさ、楽しさを知れば、一緒になって汗を流し、麻薬に染まる誘惑をはねのけることが出来るに違いない。青年の頃からそう思い、青少年に呼びかけ続けて来ました。こんな素敵な賞をいただけることは夢にも思いませんでした」と喜びを語りました。

